

## 「ポリテクセンターいわき」創立60年にあたって



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
福島支部（福島職業能力開発促進センター）

【ポリテクセンター福島】  
支部長（所長） 高野 裕之



福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター  
【ポリテクセンターいわき】  
センター長 藤井 裕久

昭和35年(1960年)5月に福島総合職業訓練所内郷分所として発足した福島職業能力開発促進センターいわき訓練センター(愛称:ポリテクセンターいわき)も、関係各位のご支援を得ながら、令和2年に60周年の節目を迎えることとなりました。

ここに心から深謝と敬意を表します。

発足当初は、炭鉱離職者に対する訓練を5訓練職種で開始しました。その後、高度経済成長や石油危機、バブルの発生と崩壊、リーマン・ショック、また大量生産時代から電子工学や情報技術を用いたオートメーション化、更にIoT、ロボット、ビッグデータ及びAI等の第4次産業革命と急激な変革の中、現在のポリテクセンターいわきに発展して、当地域の労働力供給構造の変化に対応してきました。

顧みますれば、この60年間当センターは、関係行政機関をはじめとする各位のご指導とご支援を賜り、福島県浜通り地方に職業能力開発事業を展開し、多くの技能者育成に寄与することができました。この間における各位のたゆまぬご鞭撻に対して深く敬意を表する次第であります。

経済情勢、産業構造の変革と就業に対する考え方やそのあり方が大きく変わりつつある中で、高齢化、人口減少は、それに従事する就業者に求められる仕事の質にも大きく変化が求められ続けています。

現在の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、高齢者、障害者、求職者及び地域の企業その他の関係団体等に対して総合的な支援を実施している我が国唯一の法人として、特に職業能力開発分野では、国の雇用政策の一翼を担う組織として、雇用のセーフティネットとしての離職者訓練、企業の生産性向上や人材育成に資するための在職者訓練や生産性向上支援訓練等に取り組んでいます。私たちに寄せられる期待度もますます大きくなってきているのを感じております。

その期待にお応えできるよう、職員一同力を合わせて、技能等の教育訓練に引き続き邁進する覚悟でありますので、今後とも倍旧のご指導とご鞭撻をお願いしてご挨拶といたします。

2020年1月

## 「ポリテクセンターいわき」創立60年のメッセージ

いわき市  
市長 清水 敏 男 様

いわき商工会議所  
会 頭 小 野 栄 重 様

公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会  
会 長 猪 狩 正 明 様

福島県商工労働部産業人材育成課  
課 長 野 地 義 幸 様



いわき市  
市長 清水 敏 男 様

このたび、ポリテクセンターいわきが、創立60周年の大きな節目を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

創立以来、長きにわたり、企業や個人など働く方々へ、技術革新や雇用動向の変化にあわせた機動的な教育訓練の機会を提供いただいていることに、改めて感謝申し上げます。

人口減少等により、人材の確保と定着が企業にとって大きな課題となる中、地域課題を捉えた事業展開や多様な職業能力向上機会の整備など、人づくりを通して地域産業の発展に寄与する皆様の役割は、今後ますます重要になるものと認識しております。

市といたしましても、関係機関の皆様と連携を図りながら、魅力あるしごとづくりや多様な人材が働きやすい職場づくりに取り組んで参りますので、皆様には、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ポリテクセンターいわきの益々の発展と関係者の皆様の御健勝・御活躍を心より祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。



いわき商工会議所  
会 頭 小 野 栄 重 様

「ポリテクセンターいわき」が創立 60 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴センターが創立されました昭和 35 年は、日本の高度経済成長が始まり、「三種の神器」が急速に普及し始めるなど、新たな時代の幕開けに胸が躍り、世の中は活気に溢れておりました。その後 60 年の長きに亘り、絶えず時代の変化に対応しながら、産業人財の確保と育成に大きな役割を果たしてこられましたことに、深く敬意を表する次第であります。

現在の地域経済は、深刻化する人手不足や事業承継問題、急速に進むデジタル化への対応、次世代エネルギー先進都市の構築、自然災害リスクへの対応など、さまざまな課題を抱えております。

いわき商工会議所といたしましても、貴センターを始め行政や関係機関の皆様とより連携を深めながら、こうした課題を克服し、「世界に誇れる復興モデル都市・いわき」を実現したいと考えております。

結びに、貴センターのさらなるご隆盛をご祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。



公益社団法人  
いわき産学官ネットワーク協会  
会 長 猪 狩 正 明 様

ポリテクセンターいわきが創立60周年を迎えられましたことを、心よりお祝いを申し上げます。

長きにわたり、いかなる社会経済情勢の下においても、ポリテクセンターいわきが促進されてきた職業能力の開発および雇用の促進に向けた取組みは、いわき地域における新たな雇用の創出はもとより、地域産業の担い手である産業人材の育成ならびに地域経済の発展に大きな役割を果たしてこられました。

人口減少はじめ、今後押し寄せる地域社会構造の変革の中においても、これまで以上に地域の産業特性を生かした職業能力の開発に注力され、地域産業基盤のレベルアップに貢献されることを大いに期待しております。

ポリテクセンターいわきの関係者の皆さまのこれまでのご尽力に深く敬意を表しますとともに、この60周年を節目として、これまでの実績を礎により一層ご発展なさることをお祈り申し上げます。



福島県商工労働部産業人材育成課  
課長 野地 義幸 様

ポリテクセンターいわき創立60周年、誠におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。

貴センターにおかれましては、産業人材を育成する教育訓練機関として、長年に渡り人材育成、確保に御尽力され、雇用の安定や各産業界発展の先導的な役割を果たしてこられました。その御功績に、改めて敬意を表する次第です。

教育訓練機関を取り巻く環境は、時代の流れにより刻々と変化しています。現在は、教育訓練機関に与える環境変化要因として、「技術革新に伴う職業能力の変化」、「学び直し機運の上昇」、「人生100年時代」、「失業率低下」など様々な要因があります。

本県においても、求職者や在職者等に対する職業訓練を実施しており、求人ニーズや求職ニーズを的確に把握し訓練に活かすことが必要不可欠とされています。

これまでの訓練にあたり、貴センターからの度重なる御協力、お力添えを頂いたことに深く感謝申し上げます。

多岐に渡る訓練ニーズに対応するため、貴センターとの連携をより強固なものとし、今後とも、産業界発展に寄与するため人材育成、確保に努める所存であります。

最後に、創立60周年を迎えられたことを契機に、より一層、地域産業の継続的な発展に貢献いただくことを期待するとともに、貴センターの益々の御繁栄を祈念申し上げます。